

# マレーシアでのりんごプロモーション

青森県農林水産物輸出促進協議会

## <実施概況>

| 区分 | 概要   |
|----|--|
| 場所 | マレーシア 現地系スーパー(10店舗) ※試食宣伝場所                                    |
| 期間 | 試食宣伝<br>令和6年1月5日(金)~21日(日)<br>ECサイトでのサンプル提供<br>令和6年1月1日(日)~31日 |

## <課題及び今後の対応等>

- 青森りんごの価格に見合った価値を理解してもらうため、引き続き、試食PR等に取り組んでいく必要がある。
- ギフト需要の拡大に向け、ECサイトでのプロモーションを継続する。

## <実施内容>

- 試食宣伝  
ポスター等の資材で装飾したりんご売場で、販売員が試食提供しながら青森りんごの品質の高さをPRした。
- ECサイトでのサンプル提供  
サイト内で青森りんごを紹介するとともに、高級果物やギフト用果物を購入した顧客延べ1,000名に、青森りんご(ぐんま名月)1個をサンプル配布(プレゼント)した。

## <消費者や販売店舗等の反応>

- 試食宣伝  
王林とぐんま名月の試食提供を行い、いずれも新鮮でおいしいと高く評価された。  
一方で、消費者は、日本産りんごとエンヴィやロキット・アップルなどと、食味、大きさ、値頃感、生産国などを比較して購入しており、現地事業者からは、日本産りんごは、サイズが大きく高品質なことは認識されているが、他国産と比較して単価が高い(令和5年産は特に高い)ことが販売拡大に向けた課題との意見があった。
- ECサイトでは、ギフト用果物購入者に青森りんごをプレゼントし、消費者からは「日本のりんごは大きくてとても甘い」「味が今まで食べたりんごと全く違う」などの高い評価を得た。

